

平成19年度事業報告書

第1 事業概況

1. 選手強化育成に関する事業

(1) ナショナルチームの強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	①	平成19年4月16日～4月22日	4	16	三重県・四日市市
	②	平成19年5月25日～5月30日	4	16	三重県・四日市市
	3	平成19年6月16日～6月21日	3	7	三重県・四日市市
	4	平成19年8月9日～8月13日	3	7	韓国・安城市
	5	平成19年8月21日～8月26日	4	8	三重県・四日市市
	6	平成20年3月4日～3月9日	3	18	三重県・四日市市
女子	①	平成19年4月15日～4月20日	3	16	愛媛県・松山市
	②	平成19年5月27日～5月31日	3	16	三重県・四日市市
	3	平成19年7月1日～7月6日	3	6	滋賀県・長浜市
	4	平成19年8月9日～8月13日	3	6	韓国・安城市
	5	平成19年8月21日～8月26日	3	6	三重県・四日市市
	6	平成20年2月21日～2月26日	3	17	三重県・四日市市

(注1) 男子・女子ともに第4回の合宿は、第13回世界ソフトテニス選手権大会に向けて、大会会場での日本代表選手団の合宿である。

(注2) 4、5回の合宿は、男女合同合宿である。

(注3) ○印は(財)日本オリンピック委員会の委託事業(3,410,000円)である。

(2) 全日本アンダーチーム(U-21、U-18、U-14)の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	カテゴリ	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	U-21	平成19年4月27日～5月2日	3	12	三重県・四日市市
	U-21	平成20年3月4日～3月9日	3	16	三重県・四日市市
	U-18	平成19年4月27日～5月2日	3	16	三重県・四日市市
	U-18	平成19年8月21日～8月22日	1	6	三重県・四日市市
	U-18	平成20年3月4日～3月9日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	平成19年4月27日～5月2日	2	16	三重県・四日市市
	U-14	平成20年3月4日～3月9日	3	20	三重県・四日市市

性別	カテゴリー	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
女子	U-21	平成19年9月2日～9月7日	3	14	広島県・広島市
	U-21	平成20年2月21日～2月26日	3	16	三重県・四日市市
	U-18	平成19年9月2日～9月7日	3	16	広島県・広島市
	U-18	平成20年2月21日～2月26日	3	18	三重県・四日市市
	U-14	平成19年9月2日～9月7日	2	16	広島県・広島市
	U-14	平成20年2月21日～2月26日	3	20	三重県・四日市市

(3) 強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。

世界選手権大会予選会	西田豊明 神崎公宏 渡部政治 斉藤広宣
	若梅明彦 上松明裕 篠邊 保 中本裕二
	安達和紀 井口鉄郎 小野寺 剛 林 三千夫
	塩田孝一
全日本シングルス選手権大会	斉藤広宣 若梅明彦 上松明裕 篠邊 保
	中本裕二 井口鉄郎 小野寺 剛
全日本小学生選手権大会	岡村勝幸
全日本高校選手権大会	小野寺 剛
全日本学生選手権大会	安達和紀
全日本社会人選手権大会	若梅明彦
全国中学校大会	野口英一 青田博道 古賀一人
全日本ジュニア選手権大会	井口鉄郎

(4) 競技者育成プログラムの推進事業

- ① Step 1～Step 2は各支部毎に開催した。
- ② Step 3 (U-14・U-18/男・女)を下記のとおり開催した。

ブロック名	期日	参加選手数	各支部代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管理	日本連盟 運営委員	日本連盟 強化委員	総計
北海道・東北(宮城・仙台市)	10/26~28	166	14	28	4	4	1	1	205
関東(茨城・鹿島市)	9/14~16	187	15	32	4	4	1	1	230
北信越(新潟・新潟市)	9/15~17	115	10	20	4	4	1	1	146
東海(三重・四日市市)	9/15~17	96	8	16	4	4	1	1	123
近畿(兵庫・神戸市)	9/14~16	148	14	24	4	4	1	1	183

ブロック名	期 日	参加選手数	各支部代表	カテゴリー別 指導者	ブ`ロ`ック 運営委員	テ`ニ`ス 管 理	日本連盟 運営委員	日本連盟 強化委員	総 計
中 国 (広島・三次市)	10/ 6~ 8	1 2 6	1	2 0	4	4	1	1	1 5 7
四 国 (香川・高松市)	8/31~9/2	9 4	1	1 6	4	4	1	1	1 2 1
九 州 (熊本・熊本市)	9/21~ 23	1 9 0	1	3 2	4	4	1	1	2 3 3
計		1 1 2 2	8	1 8 8	3 2	3 2	8	8	1 3 9 8

③ S t e p 4 「全日本U-14・18・21選考会及び強化練習会

兼第2回ソフトテニスジュニアジャパンカップ」を下記のとおり開催した。

期 日：11月22日～23日（選考会及び強化練習会）

11月24日～25日（第2回ジュニアジャパンカップ）

会 場：宮崎市生目の杜運動公園テニスコート

選 手：U-14（男子：36名・女子：36名）計72名

U-18（男子：44名・女子：40名）計88名

U-21（男子：32名・女子：42名）計74名

指 導 者：24名（各カテゴリーの男女別に4名）

運営委員：22名

競技委員：25名

2. 指導者養成に関する事業

(1) 平成19年度指導者研修会として、昨年に引き続き各支部より小学生・中学生・高校生指導者の代表各1名が一堂に会し、指導者の連携と情報の共有を深める目的で開催した。

・期 日：平成20年2月23日（土）～2月24日（日）

・会 場：東京グリーンパレス

・参加者：148名（支部代表＝134名、スタッフ＝14名）

【研修内容】

1) 2月23日（土） 受付＝13：00～

・全体会：13：00～15：30

進行：本田茂雄（生涯スポーツ委員会委員長）

あいさつ：笠井達夫（専務理事）

参加者紹介、諸連絡

講 演 ①「国際大会での勝利を目指して」（講師：北本英幸氏）

②「競技者育成プログラムにおける技術のポイント」（篠邊 保氏）

・分科会：15：45～18：00 主要テーマ

小学生分科会「①ソフトテニスの普及 ②小学生の指導方法および指導マニュアル
の検討 ③上部組織との連携」 司会：本田委員長

中学生分科会「①中学校部活動の現状と課題 ②競技者育成プログラムの課題」

司会：佐々木委員

高校生分科会「①指導者育成に関する各支部の取り組み ②各支部の中体連との連携
強化への取り組み」 司会：田部井委員

・懇親会：19:00～20:30 夕食を兼ねた懇談 司会：野際委員

2) 2月24日(日)

・全体会：9:00～10:45 分科会報告

小学生分科会報告(渡辺委員)

昨年の課題、小学生ジュニアクラブの人員確保、他種目スポーツとの比較
小学生の指導方法の基本

中学生分科会報告(佐々木委員)

競技者育成には指導者不足の解消が課題
指導者育成のための研修会や大会の開催、外部指導者(コーチ)との連携
部員の減少傾向、Step-1・2の定着化

高校生分科会報告(田部井委員)

競技人口の減少と指導者育成の取り組みについて、県や地区および中体連との
連携による研修会

講演 「地域スポーツと学校スポーツクラブ活動

＝総合型地域スポーツクラブと関わって＝」(講師：野際照章氏)

閉会(12:00～12:15)

専務理事の閉会のあいさつと諸連絡

解散(12:15～)昼食後に解散

(2) (財)日本体育協会公認コーチ養成専門科目講習会

1) 日程(前期)：8月25日(土)～26日(日)

(後期)：12月21日(金)～23日(日)

2) 会場：千葉県白子町「サニーインむかい」

3) 受講者：60名

【講習内容の概要】 ①＝前期 ②＝後期 ()＝講師

・基礎理論 ①「ソフトテニスの現状と課題」(笠井)

①「ソフトテニスのトレーニング論」(中島)

①「ソフトテニスの技術指導理論」(時安)

②「ソフトテニスのコーチング論」(石井)

②「ソフトテニスのトレーニングの理論と実践」(川上)

②「ソフトテニス選手の栄養サポート」(川野)

②「ソフトテニスの技術指導理論」(時安)

②「ソフトテニスの生理学」(水野)

②「ソフトテニスの審判法」(今井)

	②「ソフトテニスのルール・審判法」	(今井)
	②「ソフトテニスの心理的サポート」	(立谷)
・指導実習	①「ソフトテニスの実践技術指導法」	(時安・榎並)
	①「健康管理と現場における救急処置」	(中島)
	①②「指導計画の作成」	(西村)
	②「中級・上級の応用技術指導法」	(時安・高橋)
・実技	①「ソフトテニスの実践技術1、ベースラインプレーヤー」	(時安・榎並)
	①「ソフトテニスの実践技術1、ネットプレーヤー」	(榎並・時安)
	①「実践的コーディネーショントレーニング」	(石井)
	②「ソフトテニスの実践技術、シングルス」	(時安・高橋)
	②「ソフトテニスのバイオメカニクス」	(井田)
	②「ソフトテニスの実戦技術、コンビネーション」	(時安・榎並)
・検定試験		(石井・榎並)

(3) 指導者バンクの整備

競技者育成プログラムの推進等のため日本連盟として指導者を確保する必要から、各支部の推薦を受けた指導者バンクを整備している。

なお、地域における普及活動を支援するための指導者バンクも整備している。

(4) 地域スポーツ指導者養成事業

ア 指導員養成講習会専門科目開催事業 9会場 実施都道府県（青森県、福島県、群馬県、神奈川県、山梨県、福井県、岐阜県、愛媛県、熊本県）

イ 上級指導員養成講習会専門科目開催事業 実施都道府県なし

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し会員登録料（一般の20%、小学生の50%、中学生の20%、高校生の10%高専の10%）を還元し、地域クラブ・ジュニアクラブの育成等の充実を図った。

また、各支部に対し中学生大会、レディース大会、ソフトテニスの日、指導者バンクの補助を行った。

4. 国内競技会に関する事業

別表1のとおり諸大会を実施した。

(注) 別表1（P41～43）のうち、全日本選手権大会はスポーツ振興基金の助成（1,500,000円）あり。

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、9地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

(1) マスターレフェリー37名、マスターアンパイヤー38名を認定した。

(2) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

1級	新規	86
	更新	181
2級	新規	5,487
	更新	4,834
	高校生	16,218
	ジュニア移行	3,057
ジュニア		23,453
計		53,316

(注) 都道府県別認定者掲載数は別表2(P44)に掲載

参考：過去5年間の実績

(数値：名)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
1級	304	410	415	350	289
2級	11,845	9,657	10,322	9,956	9,411
高校生	10,940	14,533	20,246	18,344	18,086
ジュニア	9,247	11,931	10,787	16,034	18,373
計	32,336	36,351	41,770	44,684	46,159

(3) 1級審判員の検定会と研修会を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成20年1月12日～13日	東京体育館	41
	平成20年1月19日～20日	岡山総合文化体育館	46
研修会	平成19年11月4日	北海道 北翔大学	15
	平成20年1月6日	香川県 善通寺市市民体育館	18
	平成20年1月20日	滋賀県 滋賀県立体育館	14
	平成20年1月27日	熊本県 山鹿市総合体育館	20
	平成20年2月3日	岩手県 北上市総合体育館	34
	平成20年2月11日	新潟県 燕市市民体育センター	19
	平成20年2月16日	岐阜県 瑞浪市市民体育館	21
	平成20年2月17日	茨城県 青柳公園体育館	47
	平成20年2月24日	鳥取県 県立米子産業体育館	32

(4) ソフトテニスハンドブックを24,333部、採点票(6,441冊)

オーダー票(1,108冊)、イエローカード、他(32枚)を販売した。

ジュニア審判マニュアル(23,453冊)を頒布した。

7. 技術等級制度に関する事業

(1) 名誉指導員5名を認定した。

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
人 数	6	243	79	2	6

(2) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

等 級	マスター	E X	S-EX	S P	S-SP	1 級	2 級	3 級	4 級	計
申 請	0	78	13	216	10	533	1,231	806	3,357	6,244

(注) 都道府県別認定者数は別表3 (P45) に掲載

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
人 数	6,666	6,130	6,389	5,788	5,415

8. 用具・施設の公認に関する事業

(1) ラケットの証紙418,290枚 ネット証布3,200枚を販売した。

参考：過去5年間の実績 (数値：枚)

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
ラケット証紙	612,100	498,070	493,115	445,795	409,080
ネ ッ ト 証 布	3,800	4,200	2,800	3,200	2,800

(2) 7社31種類のラケットを公認した。

9. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ソフトテニス」を発行 (毎月1回)

購読者数 支部購読1,516名 個人購読420名

(2) 第62回全日本選手権大会 (浜松市) がNHK教育テレビで、前年に引き続いて放送された。

(3) 平成19年度 大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布し、2冊を販売した。

(4) インターネットのホームページを継続した。

URL : <http://www.jsta.or.jp>

E-mail: info@jsta.or.jp

(5) 動画配信「各種大会等の動画をインターネット上に配信」

スポーツ衛星放送チャンネル「ガオラ」に変えて日本連盟、各支部連盟が収録した大会や研修会等の映像を配信している。

「日本連盟TV＝平成19年5月スタート、各支部＝平成20年1月より順次スタート、(5月現在＝29支部が開局済み)」

10. 各種表彰の実施

- (1) 平成19年12月1日の第13回世界ソフトテニス選手権大会祝勝会に先立って、平成19年度の表彰式を執り行い、代表して本部功労者の星野 博氏（参与）と本田茂雄氏（理事）が、海部俊樹会長より表彰盾が授与された。

表彰の内訳は、次のとおりである。

本部功労者 2名

支部功労者 89名

優良団体 45団体

ランキング 434名

最優秀監督、優秀監督 各10名

最優秀選手、優秀選手、敢闘選手 男女各2名

読売スポーツ賞 1団体（監督・選手＝7名）

JOCジュニア・オリンピックカップ最優秀選手（男女各1名）

1.1. 国際競技大会への代表選手団等の派遣

(1) 第6回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会

中国・浙江台州スポーツセンターに於いて、6月9日(土)～6月12日(火)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 選手団

団長 神鳥泰次(理事=国際担当)

男子監督 篠邊保(全日本U-21男子監督) 女子監督 井口鉄郎(全日本U-21女子コーチ)

男子選手 玉川裕司(中京大学) 女子選手 柴由佳(東芝姫路)
横江忠彦(中京大学) 藤本涼子(東芝姫路)
稲積京之助(日本体育大学) 中川静香(ナガセケンコー)
日野智章(日本体育大学) 阿部悠梨(ナガセケンコー)
鹿島鉄平(早稲田大学) 中村朱里(ヨネックス)
森田祐哉(東北福祉大学) 渡邊晶子(ヨネックス)

イ 参加国 韓国、中華台北、インド、日本、中国

ウ 成績 金メダル=柴崎(女子シングルス) 鹿島・森田(男子ダブルス)
中川・阿部(女子ダブルス) 中川・森田(ミックスダブルス)
銀メダル=団体(男子・女子) 稲積・日野(男子ダブルス)
柴・藤本(女子ダブルス) 横江・中村(ミックスダブルス)
銅メダル=鹿島(男子シングルス) 渡邊(女子シングルス)
玉川・阿部(ミックスダブルス)

(2) 第15回日・韓・中ジュニア交流競技会(ソフトテニス)

中国・桂林市に於いて、8月23日(木)～8月29日(水)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長 笛岡宣明(理事・高体連常任委員)

男子監督 女子監督 林三千夫(全日本-18女子監督)

男子選手 太田重広(岡山理科大学附属高等学校) 女子選手 古宮茉衣(高崎健康福祉大学高崎高等学校)
柴田章平(岡山理科大学附属高等学校) 宮下愛未(高崎健康福祉大学高崎高等学校)
正岡一志(済美高等学校) 安川真璃子(和歌山信愛女子短期大学附属高校)
中本圭哉(音戸高等学校) 森原可奈(広島女子商学園高等学校)
村田直樹(大牟田高等学校) 水松彩華(就実高等学校)
巽慎也(高田商業高等学校) 塩島有紗(尺誠学園高等学校)

イ. 参加国 日本、韓国、中国

ウ. 成 績 金メダル＝男子団体

(3) 第13回世界ソフトテニス選手権大会

大韓民国・安城市に於いて、9月8日(土)～9月12日(水)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 役 員 西村信寛 笠井達夫
審判員 小原信幸 蒲原英敏 大前秀樹
国際関連 丹崎健一 神鳥泰次 山口正紀 田辺 理 福・穰司
橋本貞夫 佐々木 寿 藤田義仁
広 報 柳下秋久
強 化 金治義昭 中本裕二
事務局 荒木朋子

イ 選手団

団 長 神崎公宏(強化委員) 総 務 橋本茂樹(国際委員)
男子監督 斉藤広宣(強化委員) 女子監督 渡部政治(強化委員)
〃コーチ 上松明裕(強化委員) 〃コーチ 若梅明彦(強化委員)
〃トレーナー 川上晃司(スポーツインテリジェンス) 〃トレーナー 二瓶美穂(スポーツインテリジェンス)
男子選手 中堀成生(NTT西日本広島) 女子選手 杉本 瞳(東芝姫路)
高川経生(NTT西日本広島) 上嶋 亜友美(東芝姫路)
花田直弥(京都市役所) 上原 絵里(ナガセケンコー)
川村達郎(岡山市役所) 平田清乃(ナガセケンコー)
篠原秀典(日体大桜友会) 堀越 敦子(NTT西日本広島)
香川大輔(厚木市役所) 中川 静香(ナガセケンコー)

ウ 参加国 39カ国

エ 成 績 金メダル＝男子団体 銀メダル＝女子団体 銅メダル＝中川(女子シングルス)
中堀・高川(男子ダブルス)、高川・上原(ミックスダブルス)

(4) 第6回中山杯国際ソフトテニス大会

中華台北・台中市に於いて、平成20年3月15日(土)～3月16日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

監 督 井口鉄郎(全日本U-21女子コーチ)
男子選手 堀 晃大(NTT西日本広島) 岩・ 圭(NTT西日本広島)
女子選手 澤 邊 好美(日本体育大学) 田中 ちひろ(日本体育大学)

イ. 参加国 日本、中華台北、インドネシア

ウ. 成 績 金メダル＝澤邊・田中(女子ダブルス) 銅メダル＝岩・(男子シングルス)

1 2 . 国際普及の促進に関する事業

(1) 海外長期滞在指導者の派遣

インドネシア・ジャカルタに居住中の武井紀明氏を継続指名した。

(2) スペイン「サンチェステニスクラブ」のコーチ、ヒメネス氏が東レパンパシフィック大会に 来日し、2月2日（金）にクラブ日本の藤田氏の紹介、仲立ちによりスペインを初めとした 世界各地へのソフトテニスの普及展開お願いのため会談をした。

笠井専務理事、丹崎国際委員長、田辺国際委員、藤田氏

- ・会談結果＝ソフトテニスのスペインはもちろん世界への普及については検討したい。
- ・今後どのように展開するか等々は、改めて相談したいとの回答があった。

(3) ヨーロッパ（ドイツ、スペイン、オランダ）への普及促進として、5月9日から5月22日 まで指導者および選手を派遣した。

・笠井達夫（専務理事）、田辺 理（国際プロジェクト）、古賀俊彦（サンライフ監督）

サンライフチーム女子選手（佐々木恵、今野綾香、高井朋恵、植松奈美、佐藤那帆）

- ・世界選手権大会への参加促進
- ・ソフトテニス競技の普及拡大
- ・スペインのバルセロナにて「サンチェスアカデミー」への参加について、欧州各国への展開活動の打ち合わせ
- ・ドイツ第1回ジャーマンオープン参加（サンライフチーム）

(4) アメリカ（カリフォルニア州）のカリポリテクニク州立大学での、ソフトテニス講座へ 7月12日から21日まで指導者および選手を派遣した。

USAソフトテニス連盟会長庄川 進会長の要請により、毎年標記大学で開催されている

スポーツワークショップのソフトテニス講座に、本年も林 敏弘団長（副会長）、丹崎健一

（理事・国際委員長）、古賀俊彦（サンライフ監督）、サンライフチーム選手5名（佐々木恵、今野綾香、高井朋恵、植松奈美、佐藤那帆）が参加した。

- ・ロスアンゼルス「LAフィットネスクラブ」にて練習と模範ゲーム
- ・ロスアンゼルス郊外「サンマリーノテニスクラブ」にてUSA世界選手権代表選手との合同練習、指導、練習試合

(5) ペルー共和国の第1回ソフトテニスセミナーへの協力として、7月10日から19日まで指導 者として、橋本貞夫（国際プロジェクト委員）を派遣した。

- ・ソフトテニスセミナーでのソフトテニスの歴史、理論、実技指導
- ・国立ペルースポーツ協会会長にラケットとボールを贈呈

- ・第13回世界ソフトテニス選手権大会への参加促進（ペルー代表選手決定）

(6) モルディブへの普及のため8月11日から23日まで、指導者を派遣した。

モルディブソフトテニス連盟より、第13回世界選手権大会への強化策として、日本連盟へ指導者派遣の要請があり、東北福祉大学ソフトテニス部コーチの菅原隆志氏を派遣した。
(滞在費他モルディブ負担)。

- ・モルディブナショナルチームへの技術指導

(7) ヨーロッパへのジュニア選手の派遣

ドイツフランクフルトおよびハンガリーブダペストへ夏休みを利用して、8月25日から31日まで指導者と選手を派遣した。(原則自己負担)

- ・ドイツ：野口英一(国際委員、文化女子大学付属杉並中・高等学校教諭) 女子選手2名(文化女子大学付属杉並中学校)
- ・ハンガリー：原田康弘(大磯国府中学校教諭) 男女各2名(大磯国府中学校)

(8) ペルー共和国の第2回ソフトテニスセミナーへの協力および南米初の大会参加のため、2月13日から23日まで指導者と選手を派遣した。

南米5カ国が参加した初のトーナメントということで、サンライフチームの協力をて遠征することになったが、トーナメントは参加国の調整が直前までつかず、キャンセルとなったため、セミナーおよびペルー選手への指導となった。

丹崎健一(理事・国際委員長)、橋本貞夫(国際プロジェクト委員)、古賀俊彦(サンライフ監督)、サンライフチーム選手4名(今野綾香、高塚みなみ、頭本志穂、佐藤那帆)

- ・古賀氏および橋本委員の通訳によるソフトテニスの歴史、現状、ルール、テニスとの違い等の講義
- ・体育館でのサンライフ選手により模範プレーおよびペルー選手への指導
- ・ペルー連盟へのネット、ボールの寄贈

(7) 用具・用品の支援

22カ国、ボール=298打、ラケット=343本、ポンプ=60個。

《ボール》チェコ、ドイツ、中国、メキシコ、スペイン、パナマ、コロンビア、ハンガリー、メキシコ、北朝鮮、アメリカ、ペルー、カナダ、マカオ、イタリア、オーストラリア、ポーランド、マレーシア、ペルー。

《ラケット》チェコ、オランダ、ドイツ、中国、メキシコ、スペイン、パナマ、コロンビア、北朝鮮、メキシコ、スコットランド、ペルー、マカオ、イタリア、オーストラリア、ポーランド。

《ポンプ》ドイツ、コロンビア、北朝鮮、ペルー、カナダ、マレーシア。

13. 国際大会の開催促進に関する事業

(1) 2007年第13回世界選手権大会の準備

- ・2007年4月1日(日)・2日(月)に韓国連盟代表および開催地の安城市(アンソン)当局担当者が来日し、第1回打ち合わせを東京にて行った。
- ・参加国、地域の確認や予算の内容、スケジュール等の確認がなされた。
- ・2007年6月22日(金)・23日(土)に韓国運営担当者(韓国連盟、安城市スタッフ)が再度東京に来日し、運営面の詳細にわたり検討、確認作業を行い、最終案を策定した。

(2) 2010年の中国広州でのアジア競技大会の会場地視察について

7月12日から15日まで西村信寛(I S T F事務総長、日連副会長)と笠井達夫(アジア連盟事務総長、日連専務理事)が渡中し、競技団体の広州訪問第1号として、ソフトテニス競技実施決定のお礼とテニスコート等会場視察を行った。

第 2 庶務事項

1. 評議員会に関する事項

(1) 第 1 回評議員会

ア 期 日 平成 19 年 6 月 17 日 (日) 13 時 開会

イ 会 場 東京グリーンパレス「ばら会議室」

ウ 議決事項

① 平成 18 年度事業報告書 (案) について

② 平成 18 年度収支決算書 (案) について

(2) 書面審議による評議員会

ア 期 日 平成 19 年 10 月 24 日 (水)

イ 会 場 書面審議

ウ 決議事項

① 平成 19 年度第 1 次補正予算 (案) について

(3) 第 2 回評議員会

ア 期 日 平成 19 年 12 月 2 日 (日) 9 時 30 分開会

イ 会 場 ホテルサンルートプラザ新宿 1 F 「芙蓉」

ウ 議決事項

① 平成 19 年度第 2 次補正予算 (案) について

② 平成 20 年度事業計画 (案) について

③ 理事会提案 (技術等級制度の改訂、ゼッケンの着用) について

④ 平成 20 年度収支予算 (案) について

⑤ 平成 20 年度評議員会日程について

2. 理事会に関する事項

(1) 第 1 回理事会

ア 期 日 平成 19 年 4 月 21 日 (土) 11 時開会

イ 会 場 全日本中学校長会館 4 F 「会議室」

ウ 議 題

① 評議員の承認について

② 施設業者の公認解除について

③ 決算見込みと補正予算について

(2) 第 2 回理事会

ア 期 日 平成 19 年 6 月 16 日 (土) 13 時開会

イ 会 場 全日本中学校長会館 4 F 「会議室」

ウ 議 題

- ① 平成18年度事業報告書（案）について
- ② 平成18年度収支決算報告書（案）について
- ③ 旅費・謝金規程の改訂について

(3) 第3回理事会

ア 期 日 平成19年9月22日（土）午前11時開会

イ 会 場 全日本中学校長会館「4F会議室」

- ウ 議 題
- ① 平成19年度1級審判員検定会・研修会について
 - ② ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
 - ③ 常勤役員の配置とその報酬規程の制定について
 - ④ 平成19年度第1次補正予算（案）について
 - ⑤ 平成20年度事業計画および予算編成方針について

(4) 第4回理事会

ア 期 日 平成19年11月10日（土）午前11時開会

イ 会 場 全日本中学校長会館「4F会議室」

- ウ 議 題
- ① 平成20年度事業計画（案）および収支予算（案）について
 - ② 支部功労者、優良団体について
 - ③ ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
 - ④ 平成20年度評議員会日程について
 - ⑤ 読売スポーツ賞候補者推薦について
 - ⑥ 全日本インドア選手権大会に関わる外国選手の出場について
 - ⑦ 専門委員会提案
ア 技術等級制度の改訂について
イ ゼッケンの着用について
ウ 審判技術マニュアル（DVD）について

(5) 第5回理事会

ア 期 日 平成19年12月1日（土）午前11時開会

イ 会 場 ホテルサンルートプラザ新宿1F「芙蓉」

- ウ 議 題
- ① 平成19年度第2次補正予算（案）について
 - ② 平成20年度事業計画（案）および収支予算（案）について
 - ③ 大会要項の改訂について
 - ④ ナショナルチームおよび全日本アンダーのスタッフと選手について
その他、支部提案について

3. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議が、次のとおり開催された。

月	日	専門委員会(部会)名	会 場
4	6	機関誌編集部会	国立競技場(505)
	7	プログラム編成部会	東京体育館会議室
	7	総務委員会	東京体育館会議室
	8	生涯スポーツ委員会(小学生部会・シニア部会)	全日本中学校長会館
	8	国際振興プロジェクト委員会	東京体育館会議室
	14	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	22	国際振興プロジェクト委員会	全日本中学校長会館
5	6	機関誌編集部会	国立競技場(505)
	13	競技委員会	全日本中学校長会館
	26	競技者育成プログラム推進委員会	全日本中学校長会館
	30	強化委員会	四日市市
6	8	機関誌編集部会	国立競技場(505)
	8~9	競技者育成マネジメント部会	岸記念体育会館
	9	競技者育成部会	岸記念体育会館
	17	国際振興プロジェクト委員会	全日本中学校長会館
	30	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
7	4	機関誌編集部会	国立競技場(505)
	21	等級制度部会	全日本中学校長会館
	21	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	26	プログラム編成部会	岸記念体育会館
8	8	機関誌編集部会	国立競技場(505)
	21	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	25	プログラム編成部会	全日本中学校長会館
9	5	機関誌編集部会	国立競技場(505)
	7	プログラム編成部会(国体)	岸記念体育会館
	8	等級制度部会	全日本中学校長会館
	17	会員登録システム打合わせ	全日本中学校長会館
	22	プログラム編成部会	全日本中学校長会館
10	6	プログラム編成部会	白子町
	7	競技者育成プログラム	三重県松阪市
	8	審判委員会	全日本中学校長会館
	8	会員登録システム打合わせ	藤沢産業センター

10	機関誌編集部会	国立競技場（505）
14	総務委員会	滋賀県長浜市

月	日	専門委員会（部会）名	会 場
10	20	強化委員会	静岡県浜松市
	20	専門委員長会議	静岡県浜松市
	20	等級制度部会	静岡県浜松市
11	6	機関誌編集部会	岸記念体育会館（1F）
	11	審判委員会DVD作成	文教大学
	18	審判委員会DVD作成	文教大学
12	6	機関誌編集部会	岸記念体育会館（1F）
	15	システム打合わせ	藤沢産業センター
	15	等級制度部会	藤沢産業センター
	20	医科学部会	岸記念体育会館
1	9	機関誌編集部会	岸記念体育会館（1F）
	13	IT部会	藤沢産業センター
	13	ドーピングコントロール委員会	東京体育館
	13	システム打合わせ	藤沢産業センター
	27	強化委員会	大阪府立体育館
2	8	機関誌編集部会	岸記念体育会館（1F）
	16	システム打合わせ	岸記念体育会館
	23	プログラム編成	東京都ソフトテニス連盟
	25	強化委員会	三重県四日市市
	29	機関誌編集部会	岸記念体育会館（1F）
3	1	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
	20	マネジメント部会	京都府体育協会
	23	システム打合わせ	岸記念体育会館
	30	専門委員長会議	長生郡白子町

（2）映像配信支部担当者説明会（12月8日：麴町学園中・高等学校）

（3）会員登録料納付システム全国説明会（20年1月20日：東京グリーンパレス）

（4）競技者育成プログラム普及促進事業会議（12月23日：岡山：上松委員、重平委員）

（5）生涯スポーツコンベンション会議（20年2月14日～15日：広島：宮下理事）

(6) 第13回世界ソフトテニス選手権大会祝勝会(12月6日:ホテルサンルートプラザ新宿)

4. 理事・監事・評議員・専門委員・顧問・参与・事務局職員に関する事項

(1) 平成19年度 理事 23名

役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体	
会長	海部俊樹	学識経験者	理事	姫野嘉孝	九州	
副会長	林敏弘			小原信幸	会長推薦	
	表孟宏			宮下恭子		
	西村信寛			西田豊明		
専務理事	笠井達夫	会長推薦		石井源信		会長推薦
理事	本田茂雄	北海道・東北		柳下秋久		
	藤原伸二	関東		丹崎健一		
	和歌浦信雄	北信越		野口英一		
	斉藤元三	東海		笛岡宣明		
	正城與四次	近畿		岡村勝幸		
	神鳥泰次	中国		神崎公宏		
	上田喜博	四国				

(2) 平成19年度 監事 3名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
北村和久	三重	大西貞夫	大阪	井上清一	石川

(3) 平成19年度 評議員 50名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
富樫康夫	北海道	新保俊彦	青森	新沼正博	岩手
松田孝志	宮城	萬正一	秋田	山田耕司	山形
川島登	福島	額賀富雄	茨城	田村哲二	栃木
鈴木正彦	群馬	山下晴海	埼玉	石川雅利	千葉
山・隆一	東京	笠井一栄	神奈川	千野一也	山梨
八子建悟	新潟	堀内昭	長野	高倉正和	富山
真島仁志	石川	川畑茂	福井	落合敏男	静岡
横野久美子	愛知	内田政和	三重	木村芳雄	岐阜
福地茂	滋賀	山本毅	京都	阿部宗一	大阪
森田賢二	兵庫	川西斎	奈良	花田一弥	和歌山
安東健司	鳥取	森脇孝吉	島根	重平静洋	岡山
木原晴彦	広島	秋枝正文	山口	馬詰悟	徳島
松浦充	香川	青野實則	愛媛	横江忠志	高知
中野賢治	福岡	江頭武典	佐賀	馬場信幸	長崎

吉田博紀	熊本	片野秀樹	大分	寺園 隼 順	宮崎
川畑 城	鹿児島	仲間正弘	沖縄	梨本美由紀	日学連
大川晋一	高体連	間中和男	中体連		

(4) 平成19年度 専門委員会委員

総務委員会	委員長	和歌浦 信 雄			
会員登録制度部会	委員	柳下秋久	斉藤元三	神鳥泰次	姫野嘉孝
		丹崎健一	出石 稔		
	部会長	和歌浦 信 雄			
	委員	田鹿明彦	今井史郎	川島 登	北 正三
大西正明		梨本美由紀	岡村勝幸		

審判委員会	委員長	小原 信 幸			
	委員	柳下秋久	北村和久	今井史郎	林田正信
		出石 稔	荒木稜夫	丹崎健一	田中敏雄
		蒲原英敏	笛岡宣明	藤原伸二	荒畑鈴佳
		上山親子			

競技委員会	委員長	藤原伸二				
	委員	斉藤元三	宮下恭子	上田喜博	笛岡宣明	
		長岡敏久	土・朋典	小原信幸		
	プログラム編成部会	部会長	長岡敏久			
	委員	斉藤元三	上田喜博	佐藤健司	石川雅利	
		木谷順三	小笠原浩二	八代醜雅文	山口眞護	
		渡部秀二	土・朋典	池田光雄	木所一典	
		小俣三男	大川京子	高川恵美子		
	用具施設部会	部会長	斉藤元三			
		委員	小原信幸	姫野嘉孝	笛岡宣明	

強化委員会	委員長	西田豊明				
	委員	神崎公宏	石井源信	福林 徹	金治義昭	
		北本英幸	斉藤広宣	渡部政治	若梅明彦	
		中本裕二	上松明裕			
	医科学部会	部会長	福林 徹			
		委員	石井源信	水野哲也	山本裕二	工藤敏巳
			出家正隆	藤島淑子	楠堀誠司	井田博史
			川上晃司			

指導委員会	委員長	石井源信			
	委員	西田豊明	渡部政治	神崎公宏	小野寺 剛
		岡村勝幸	榎並紳吉	井田博史	中本裕二
		安達和紀	篠邊 保		
	等級制度部会	部会長	岡村勝幸		

	委員	今井史郎	荒木稜夫	安達和紀	篠邊保
		吉田茂			

生涯スポーツ委員会	委員長	本田茂雄				
	委員	丹崎健一	佐藤正矩	宮下恭子	姫野嘉孝	
		正城与四次	佐々木悟	北山敏隆	野際照章	
		間宮栄二	田部井喜行	梨本美由紀	大川京子	
	小学生普及部会	部会長	丹崎健一			
		委員	渡辺武夫	松口康彦	芝地康幸	石川雅利
			金岡昭房	國枝俊子	川並久美子	中村正広
	シニア部会	部会長	宮下恭子			
		委員	姫野嘉孝	正城与四次	大西貞夫	時任宥幸
			保倉謙治	山村嘉一	原田公夫	田中敏彦
			横野久美子	大川京子		

国際委員会	委員長	丹崎健一			
	委員	西田豊明	内藤享佑	橋本茂樹	神鳥泰次
		長岡敏久	山口正紀	福・穰司	蒲原英敏
		小野政昭	佐伯善春	玉木進	野口英一

広報委員会	委員長	柳下秋久				
	委員	中山俊介	萩原廣一	大高宏元	小野寺剛	
			北正三	近藤貴予		
	機関誌編集部会	部会長	柳下秋久			
		委員	田中美明	近藤貴予		
	I T部会	部会長	北正三			
		委員	小澤浩	大野勝敏	土・朋典	内原繁
				天野晴夫		

《特別委員会》

ドーピング判定委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	福林徹	大西祥平	柳澤尚武	藤原伸二

ドーピングコントロール委員会	委員長	福林徹			
	委員	出家正隆	永井博典	藤島淑子	梶山祥子
			川上晃司		

競技者資格委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	和歌浦信雄	藤原伸二	小原信幸	宮下恭子
		田鹿明彦	大川晋一	北山敏隆	

倫理委員会	委員長	林敏弘			
-------	-----	-----	--	--	--

	副委員長	笠井達夫			
	委員	表孟宏	西村信寛	和歌浦信雄	藤原伸二
		宮下恭子			

競技者育成プログラム推進委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	西田豊明	石井源信	武鐘守	北山敏隆
		大川晋一	田鹿明彦	丹崎健一	神崎公宏
		野際照章			
競技者育成部会	部会長	神崎公宏			
	部会員	斉藤広宣	渡部政治	中本裕二	小野寺剛
		林三千夫	岡村勝幸	野口英一	篠邊保
指導者育成部会	部会長	石井源信			
	部会員	岡村勝幸	小野寺剛	榎並紳吉	神崎公宏
		安達和紀	篠邊保		
マネジメント部会	部会長	野際照章			
	部会員	岡村勝幸	林三千夫	小野寺剛	重平静洋
		井上創	野口英一	天野晴夫	

国際振興検討プロジェクト	委員長	笠井達夫	アドバイザー：西村信寛		
	委員	丹崎健一	神鳥泰次	山口正紀	橋本貞夫
		田辺理	野口英一		

(5) 平成19年 顧問・参与・事務局職員

《顧問》

天沼照夫	林岩雄	小川寧治	松本忠・	中屋卯三郎
倉田裕司	松田謙治	斎藤孝弘	奥田忠雄	内田昌一

《参与》

山口紀夫	長瀬二郎	鬼塚喜八郎	水野明人	米山宏作
萩原修	高松政男	松田信穂	林幸夫	中山昌作
内藤享佑	伊野二彦	和田祥司	吉田敏彦	星野博

《事務局職員》

事務局長	瀬戸幹男 平成13年	職員	西村眞澄	平成13年11月1日～
			竹田稔	平成10年4月1日～
			荒木朋子	平成3年5月1日～
			大八木洋子	平成13年4月1日～

			古川 一久	平成19年4月1日～6月31日
--	--	--	-------	-----------------

(6) 平成20年度 理事 23名

役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体	
会 長	海 部 俊 樹	学識経験者	理 事	姫 野 嘉 孝	九 州	
副 会 長	林 敏 弘			会長推薦	小 原 信 幸	
	表 孟 宏				宮 下 恭 子	
	西 村 信 寛				西 田 豊 明	
専務理事	笠 井 達 夫	会 長 推 薦			石 井 源 信	
理 事	本 田 茂 雄	北 瀨 ・ 魁			柳 下 秋 久	
	藤 原 伸 二	関 東			丹 崎 健 一	
	和 歌 浦 信 雄	北 信 越			野 口 英 一	
	芥 藤 元 三	東 海			笛 岡 宣 明	
	正 城 與 四 次	近 畿			岡 村 勝 幸	
	神 鳥 泰 次	中 国			神 崎 公 宏	
	上 田 喜 博	四 国				

(7) 平成20年度 監事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
北 村 和 久	三 重	大 西 貞 夫	大 阪	井 上 清 一	石 川

(8) 平成20年度 評議員 50名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
富 樫 康 夫	北 海 道	新 保 俊 彦	青 森	新 沼 正 博	岩 手
松 田 孝 志	宮 城	萬 正 一	秋 田	山 田 耕 司	山 形
川 島 登	福 島	額 賀 富 雄	茨 城	田 村 哲 二	栃 木
鈴 木 正 彦	群 馬	山 下 晴 海	埼 玉	石 川 雅 利	千 葉
山 ・ 隆 一	東 京	笠 井 一 栄	神 奈 川	千 野 一 也	山 梨
藤 崎 敏 郎	新 潟	堀 内 昭	長 野	高 辻 則 夫	富 山
真 島 仁 志	石 川	川 畑 茂	福 井	落 合 敏 男	静 岡
横 野 久 美 子	愛 知	内 田 政 和	三 重	木 村 芳 雄	岐 阜
福 地 茂	滋 賀	山 本 毅	京 都	阿 部 宗 一	大 阪
森 田 賢 二	兵 庫	川 西 斎	奈 良	花 田 一 弥	和 歌 山
安 東 健 司	鳥 取	森 脇 孝 吉	島 根	重 平 静 洋	岡 山
木 原 晴 彦	広 島	秋 枝 正 文	山 口	馬 詰 悟	徳 島

安藤正美	香川	青野實則	愛媛	横江忠志	高知
中野賢治	福岡	江頭武典	佐賀	馬場信幸	長崎
吉田博紀	熊本	片野秀樹	大分	寺園圀順	宮崎
川畑城	鹿児島	仲間正弘	沖縄	大和田早美	日学連
津田誠	高体連	間中和男	中体連		

(9) 平成20年度 専門委員会委員

総務委員会	委員長	和歌浦信雄			
	委員	柳下秋久	斉藤元三	神鳥泰次	姫野嘉孝
		丹崎健一	出石稔		
会員登録制度部会	部会長	和歌浦信雄			
	委員	田鹿明彦	今井史郎	川島登	北正三
		大西正明	梨本美由紀	岡村勝幸	

審判委員会	委員長	小原信幸			
	委員	柳下秋久	北村和久	今井史郎	林田正信
		出石稔	荒木稜夫	丹崎健一	田中敏雄
		蒲原英敏	笛岡宣明	藤原伸二	荒畑鈴佳
		上山親子			

競技委員会	委員長	藤原伸二			
	委員	斉藤元三	宮下恭子	上田喜博	笛岡宣明
		長岡敏久	土・朋典	小原信幸	
プログラム編成部会	部会長	長岡敏久			
	委員	斉藤元三	上田喜博	佐藤健司	石川雅利
		木谷順三	小笠原浩二	八代醜雅文	山口眞護
		渡部秀二	土・朋典	池田光雄	木所一典
	小俣三男	大川京子	高川恵美子		
用具施設部会	部会長	斉藤元三			
	委員	小原信幸	姫野嘉孝	笛岡宣明	

強化委員会	委員長	西田豊明			
	委員	神崎公宏	石井源信	福林徹	金治義昭
		北本英幸	斉藤広宣	渡部政治	若梅明彦
	中本裕二	上松明裕			
医科学部会	部会長	福林徹			
	委員	石井源信	水野哲也	山本裕二	工藤敏巳
		出家正隆	藤島淑子	楠堀誠司	井田博史
		川上晃司			

指導委員会	委員長	石井源信			
-------	-----	------	--	--	--

等級制度部会	委員	西田豊明	渡部政治	神崎公宏	小野寺剛	
		岡村勝幸	榎並紳吉	井田博史	中本裕二	
		安達和紀	篠邊保			
	部会長	岡村勝幸				
	委員	今井史郎	荒木稜夫	安達和紀	篠邊保	
		吉田茂				

生涯スポーツ委員会	委員長	本田茂雄					
	委員	丹崎健一	佐藤正矩	宮下恭子	姫野嘉孝		
		正城与四次	佐々木悟	北山敏隆	野際照章		
		間宮栄二	田部井喜行	梨本美由紀	大川京子		
	小学生普及部会	部会長	丹崎健一				
		委員	渡辺武夫	松口康彦	芝地康幸	石川雅利	
金岡昭房	國枝俊子		川並久美子	中村正広			
シニア部会	部会長	宮下恭子					
	委員	姫野嘉孝	正城与四次	大西貞夫	時任宥幸		
		保倉謙治	山村嘉一	原田公夫	田中敏彦		
		横野久美子	大川京子				

国際委員会	委員長	丹崎健一				
	委員	西田豊明	内藤享佑	橋本茂樹	神鳥泰次	
		長岡敏久	山口正紀	福・穰司	蒲原英敏	
		小野政昭	佐伯善春	玉木進	野口英一	

広報委員会	委員長	柳下秋久					
	委員	中山俊介	萩原廣一	大高宏元	小野寺剛		
		北正三	近藤貴予				
	機関誌編集部会	部会長	柳下秋久				
		委員	田中美明	近藤貴予			
	IT部会	部会長	北正三				
委員		小澤浩	大野勝敏	土・朋典	内原繁		
		天野晴夫					

《特別委員会》

ドーピング判定委員会	委員長	笠井達夫				
	委員	福林徹	大西祥平	柳澤尚武	藤原伸二	

ドーピングコントロール委員会	委員長	福林徹				
	委員	出家正隆	永井博典	藤島淑子	梶山祥子	
		川上晃司				

競技者資格委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	和歌浦信雄	藤原伸二	小原信幸	宮下恭子
		田鹿明彦	大川晋一	北山敏隆	

倫理委員会	委員長	林敏弘			
	副委員長	笠井達夫			
	委員	表孟宏	西村信寛	和歌浦信雄	藤原伸二
宮下恭子					

競技者育成プログラム推進委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	西田豊明	石井源信	武鐘守	北山敏隆
		大川晋一	田鹿明彦	丹崎健一	神崎公宏
野際照章					
競技者育成部会	部会長	神崎公宏			
	部会員	斎藤広宣	渡部政治	中本裕二	小野寺剛
		林三千夫	岡村勝幸	野口英一	篠邊保
指導者育成部会	部会長	石井源信			
	部会員	岡村勝幸	小野寺剛	榎並紳吉	神崎公宏
		安達和紀	篠邊保		
マネジメント部会	部会長	野際照章			
	部会員	岡村勝幸	林三千夫	小野寺剛	重平静洋
		井上創	野口英一	天野晴夫	

国際振興検討プロジェクト	委員長	笠井達夫	アドバイザー：西村信寛		
	委員	丹崎健一	神鳥泰次	山口正紀	橋本貞夫
		田辺理	野口英一		

(5) 平成20年 顧問・参与・事務局職員

《顧問》

坂田敬一	林岩雄	小川寧治	松本忠・	中屋卯三郎
倉田裕司	松田謙治	斎藤孝弘	奥田忠雄	内田昌一

《参与》

重田衛	長瀬二郎	水野明人	米山勉	萩原修
高松政男	松田信穂	林幸夫	中山昌作	内藤享佑
伊野二彦	和田祥司	吉田敏彦	星野博	

《事務局職員》

			西村真澄	平成13年11月 1日～
--	--	--	------	--------------

		竹田 稔	平成10年 4月 1日～
		荒木 朋子	平成 3年 5月 1日～
		大八木 洋子	平成13年 4月 1日～

5. 会員登録制度の実施に関する事項

次のとおり会員が登録した。

(数値：人数)

種別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
平成19年度	17,415	269,939	91,165	385	7,543	54,239	440,686
平成18年度	17,742	240,872	93,199	373	7,567	53,787	413,540
平成17年度	18,084	213,181	96,335	344	7,266	52,422	387,632
平成16年度	19,410	369,672	94,305	115	7,153	49,616	540,271
平成15年度	16,739	370,521	90,116	216	6,654	49,417	533,663

(注) 都道府県別会員数は別表4(P46)に掲載

6. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000円 × 50支部 7,500,000円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
金額	8,707,500	134,969,500	45,582,500	192,500	3,771,500	54,239,000	247,462,500

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー

(単位：円)

用具・用品	金額	公認メーカー
ラケット・10社	1,000,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン ヒロウン・SRIスポーツ・ダイワ精工・タケマエ・ジャパーナ
ボール・2社	5,520,000	昭和ゴム・ナガセケンコー
ネット・8社	800,000	鐘屋産業・アシックス・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ゴム 高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット

ストリング・5社	3,300,000	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・S R Iスポーツ・ミズノ
ユニフォーム 11社	12,760,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン アシックス・ゴールドウイン・ナイキジャパン S R Iスポーツ・アディダスジャパン・ダイワ精工
シューズ 9社	4,320,000	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・ゴーセン アディダスジャパン・S R Iスポーツ・ミズノ・ダイワ精工 ブリヂストン
計	27,700,000	

イ. 施設業者

(単位：円)

施設・製造	金額	業者名
施設業者・1社	500,000	N I P P Oコーポレーション
砂入り人工芝 製造業者・5社	2,500,000	S R Iハイブリッド・積水樹脂・大塚ターフテック(大家家具製造販売) 東和織物・エスディーテック
計	3,000,000	

ウ. 一般

(単位：円)

50,000	内田昌一	京都	林敏弘	埼玉	西村信寛	東京	北本英幸	石川
	三田ソフトテニス倶楽部	東京	稲門軟式庭球クラブ	東京				
30,000	大阪府連盟		ティエネット(株)		ミセネット製作所		昭和ゴム(株)	
	アシックス(株)		高須賀(株)		ミズノ(株)		(株)ゴーセン	
	ヨネックス(株)		ダンロップ(株)		表孟宏	兵庫	笠井達夫	神奈川
	本田茂雄	宮城	藤原伸二	千葉	和歌浦信雄	新潟	斎藤元三	愛知
	正城與四次	兵庫	神鳥泰次	広島	上田喜博	徳島	姫野嘉孝	大分
	小原信幸	岡山	宮下恭子	大阪	西田豊明	東京	石井源信	東京
	柳下秋久	東京	丹崎健一	東京	笛岡宣明	愛知	野口英一	東京
	北村和久	三重	大西貞夫	大阪	井上清一	石川		
20,000	中屋卯三郎	岐阜						
10,000	林岩雄	栃木	倉田裕司	大阪	斎藤孝弘	埼玉	奥田忠雄	岐阜
	長瀬二郎	東京	高松政男	栃木	松田信穂	千葉	林幸夫	福島
	内藤享佑	神奈川	高木安一郎	静岡	沼本脩	静岡	古城郁夫	栃木
	楠武徳	千葉	早川敏生	愛知	今井誠則	広島	山本毅	京都
	江頭武典	佐賀	落合敏男	静岡	木村芳雄	岐阜	内田政和	三重
	田村哲二	栃木	石川雅利	千葉	八子建悟	新潟	寺園園順	宮崎
	横野久美子	愛知	大川晋一	茨城	大西正明	山形	田部井喜行	茨城
	林三千夫	和歌山	長岡敏久	埼玉	田中美明	埼玉	林田正信	熊本

田中敏彦	山梨	大野勝敏	東京	時任宥幸	東京	中本裕二	広島
金岡昭房	宮城	小野寺剛	東京	橋本茂樹	東京	大川京子	千葉
小野政昭	広島	荒木稜夫	東京	金治義昭	兵庫	井上創	兵庫
田辺理	神奈川	神奈川県連盟		川上晃司	兵庫	渡辺武夫	東京
山村嘉一	千葉	保倉謙治	埼玉	出家正隆	広島	重平静洋	岡山
玉木進	東京	北山敏隆	京都	池田光雄	東京	天野晴夫	三重
橋本貞夫	福島	鍵紀代子	宮城	武鐘守	広島	鈴木正彦	群馬
荒畑鈴佳	岐阜	近藤貴予	東京	北正三	埼玉	佐藤健司	東京
中山俊介	東京	原田公夫	鳥取	篠埜護	岡山		

7. 助成金・補助金等に関する事項

(1) 助成金

(単位：円)

日本体育協会	国民体育大会役員旅費	1,075,530
スポーツ振興センター	国内大会開催（全日本選手権大会）	1,500,000
スポーツ振興くじ	競技者育成プログラムStep-3	812,000

(2) 委託金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化事業（ナショナルチーム強化合宿）	3,410,000
日本体育協会	大会委託金（日本スポーツマスターズ）	1,688,225
	公認コーチ養成講習会委託金	989,380

(3) 補助金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	3,487,000
	競技者育成プログラム	5,000,000
ヨネックススポーツ財団	研究事業補助	600,000

8. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 寄付金

(単位：円)

海部カップ実行委員会	300,000
日本ラケット工業協同組合	200,000

(2) 協賛金

(単位：円)

ミズノ（株）「全日本インドア大会協賛金」	250,000
ミズノ（株）「ナショナルチーム・全日本アンダー協賛金」	2,000,000
ヨネックス（株）「ナショナルチーム・全日本アンダー協賛金」	2,000,000
ヨネックス（株）「ナショナルチーム・全日本アンダー協賛金」	500,000
（株）ゴーセン「ナショナルチーム・全日本アンダー協賛金」	500,000
全国書籍出版（ミニミニ）	4,500,000
JTB神戸「競技者育成プログラムStep-4協賛金」	1,500,000
JTB神戸「国際派遣関係協賛金」	225,000
クラブニッポン（株）「動画関係協賛金」	1,500,000

（3）免税募金

ア．国際普及および大会運営

（単位：円）

林 敏 弘	500,000	百 山 忠	1,000,000
-------	---------	-------	-----------

9. 傷害補償制度の給付金に関する事項

63件 2,202,000円を給付した。

〈怪我の内訳〉

傷害の内容	一 般	大学生	高 専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	11	1					12
骨 折	8		1	4	3	3	19
靱 帯 損 傷	6			2	1		9
肉 離 れ	7						7
そ の 他	11				2	3	16
計	43	1	1	6	6	6	63

平成 19 年度大会 一 覧 表

別 表 1

	日	大会名	種別	会場	参加者数
5	3～5	第13回世界選手権大会日本代表予選会	男子ダブルス	仙台市	142
			女子ダブルス	青葉山公園庭球場	78
5	19～20	第14回全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	沖縄市	136
			女子シングルス	沖縄県総合運動公園庭球場	118
6	22～24	第36回ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道 札幌市営円山庭球場	120
			女子ダブルス	道立総合体育センター「きたえーる」	120
6	30～ 7/1	西日本シニア選手権大会	シニア男45	大阪市 マリンパーク北村 長居庭球場	134
			シニア女45		130
			シニア男50		144
			シニア女50		160
			シニア男55		140
			シニア女55		174
			シニア男60		104
			シニア女60		112
			シニア男65		78
			シニア女65		62
			シニア男70		64
			シニア女70		26
			シニア男75		28
			6		30～ 7/1
一般女子	270				
成年男子	112				
成年女子	56				
7	14～15	第62回東日本選手権大会	一般男子	富山県 岩瀬スポーツ公園テニスコート 高岡スポーツコアテニスコート 八尾ゆめの森テニスコート 魚津桃山公園テニスコート	526
			一般女子		226
			成年男子		124
			成年女子		58
			シニア男45		58
			シニア女45		68
			シニア男50		96
			シニア女50		90
			シニア男55		108
			シニア女55		112
			シニア男60		110
			シニア女60		98
			シニア男65		80
			シニア女65		72
			シニア男70		48
			シニア女70		30
			シニア男75		14
			シニア女75		16
7	27～29	男子第52回 女子第51回 全日本実業団選手権大会	男子団体	大分市 大分スポーツ公園テニスコート	1072
			女子団体	大分市 大分スポーツ公園テニスコート	152

	日	大会名	種別	会場	参加者数
7	29～ 8/4	全日本高校選手権大会	男子個人	嬉野市	640
			男子団体	嬉野市みゆきテニスコート	228
			女子個人	市立嬉野市中学校テニスコート	640
			女子団体		228
8	2～5	第24回全日本小学生選手権大会	男子個人	前橋市	384
			男子団体	前橋総合運動公園テニスコート	288
			女子個人	前橋市 群馬県総合	384
			女子団体	スポーツセンターテニスコート	288
7	31～ 8/2	第34回全日本レディース（個人戦）	ふじ（初心者）	上及び既婚者）	128
			すみれ（独身者23歳以上）		54
			ぼら（40歳以上）	石川県	146
			ゆり（50歳以上）	城北市宮テニスコート	176
			きく（55歳以上）	石川県西部緑地公園テニスコート	314
			あやめ（60歳以上）	石川県辰口丘陵公園テニスコート	306
			はぎ（65歳以上）	内灘町総合運動公園テニスコート	208
			さつき（70歳以上）	津幡町総合運動公園テニスコート	116
			さくら（75歳以上）		60
8	5～11	第61回文部科学大臣杯（大学対抗） 第62回三笠宮賜杯（選手権） 第49回（シングル選手権） 全日本学生選手権大会	男子大学対抗	長野県	588
			女子大学対抗	松本市浅間温泉庭球場	384
			大学男子	豊科南部総合公園テニスコート	1064
			大学女子	松本平広域公園テニスコート	694
			男子シングルス	扇子田運動公園テニスコート	63
			女子シングルス		58
8	21～23	第38回全国中学校大会	男子個人	仙台市	128
			女子個人	シェルクムせんだい泉	128
			男子団体	総合運動公園テニスコート	128
			女子団体		128
8	22～24	第29回全日本レディース決勝大会（都道府県対抗団体戦）		千葉県総合スポーツセンター球場	528
9	1～2	第35回全日本社会人選手権大会	一般男子	岩手県北上市	470
			一般女子	和智川クレーンパークテニスコート	228
			成年男子	盛岡市立太田スポーツセンター	168
			成年女子		52
9	8～9	第14回 JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	男子1部（13～17歳）ダブル	広島県 広島市中央庭球場	32
			男子2部（18～20歳）ダブル		32
			女子1部（13～17歳）ダブル		32
			女子2部（18～20歳）ダブル		32
			男子1部（13～17歳）シングルス		32
			男子2部（18～20歳）シングルス		32
			男子1部（13～17歳）シングルス		32
			男子2部（18～20歳）シングルス		32
9	15～17	日本スポーツマスターズ2007	都道府県対抗（42×12）	滋賀県立長浜トレーニングセンター	504
9	29～ 10/3	第62回国民体育大会	少年男子	秋田県大館市	168
			少年女子		112
			成年男子	大館テニスコート	329
			成年女子		168

	日	大会名	種別	会場	参加者数
10	12～14	第11回全日本シニア選手権大会	男子45	滋賀県 県立彦根総合運動公園庭球場 滋賀県立長浜ドーム 滋賀県希望ヶ丘 文化公園テニスコート 長浜市民庭球場	192
			女子45		148
			男子50		256
			女子50		220
			男子55		246
			女子55		276
			男子60		188
			女子60		172
			男子65		148
			女子65		144
			男子70		100
			女子70		50
			男子75		48
			女子75		28
			混合45		110
			混合50		178
			混合55		166
			混合60		110
混合65	92				
10	19～21	第62回全日本選手権大会	男子	浜松市	354
			女子	花川運動公園庭球場	328
11	2～4	第21回日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市三段池公園テニスコート	400
			女子団体	福知山市市民運動場庭球場	80
11	3～4	第14回全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県	1296
			女子団体	白子町サニースコート、他	378
11	15～18	第25回日本リーグ	男子	広島県	80
			女子	広島県総合体育館	80
11	22～25	第2回ジュニアジャパンカップ	男子(U-14)	宮崎県	36
			女子(U-14)	宮崎市生目の社運動公園 テニスコート	32
			男子(U-18)		44
			女子(U-18)		40
			男子(U-21)		32
			女子(U-21)		40
1	27	第53回全日本インドア選手権大会	男子		大阪府
			女子	大阪市中央体育館	24
2	16～17	日本リーグ入替戦	男子	名古屋市立	40
			女子	露橋スポーツセンター	40
3	26～28	第19回都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県	288
			女子団体	伊勢市営庭球場	288
			男子個人	三重県営サンアリーナ	384
			女子個人	三重県営体育館	384
3	29～30	第32回全日本高等学校選抜大会	男子団体	愛知県	192
			女子団体	名古屋市長総合体育館	192
3	29～31	第7回全国小学生大会	男子5年生の部	千葉県	316
			女子5年生の部	白子町テニスコート	354
			男子(4年生以下の部)		312
			女子(4年生以下の部)		344

平成19年度 公認審判員認定者数

別表2

H20年3月31日現在

支部名	2 級				ジュニア	マスター アンパイヤー	1 級		マスター レフェリー	合 計
	新規	高校	更新	移行			新規	更新		
1 北海道	247	235	249	330	2,320	2	2	2		3,387
2 青 森	55	22	14		83					174
3 岩 手	80	101	119	1,160	1,656		1	3	1	3,121
4 宮 城	75	222	91	17	193		2	5	2	607
5 秋 田	86	274	243	87	898		3	4		1,595
6 山 形	26	299	108	103	707		4	5		1,252
7 福 島	119	553	95	55	1,239		1	2	1	2,065
8 茨 城	84	652	92	12	210		1	6		1,057
9 栃 木	94	500	58	15	111	1	2	3	1	785
10 群 馬	130	453	198	106	278		1	2		1,168
11 埼 玉	159	2,101	47	10	34		5	5	1	2,362
12 千 葉	228	1,184	123	65	2,995		6	2		4,603
13 東 京	154	158	110	21	154	14	1	2		614
14 神奈川	156	633	134	165	5,485	5	1	29	9	6,617
15 山 梨	111	569	78	99	236	3	6		1	1,103
16 新 潟	81	228	131	216	2,663	4	5	1		3,329
17 長 野	108	648	146		107		1		1	1,011
18 富 山	39	405	140		57			6		647
18 石 川	47	53	81	224	1,117			1		1,523
20 福 井	47	82	42	1	78					250
21 静 岡	121	604	113	54	321	1	1	6	6	1,227
22 愛 知	559	52	308	10	48	2	2	5	1	987
23 三 重	106	98	31	19	83		1	4		342
24 岐 阜	137	270	123	17	309		2	2	1	861
25 滋 賀	44	664	58	9	83			6		864
26 京 都	180	522	54	20	37		2	5	3	823
27 大 阪	233	213	182		76		1	2		707
28 兵 庫	378	28			16			10	1	433
29 奈 良	49	236	185		21		2	16	4	513
30 和歌山	55	40	116		213					424
31 鳥 取	37	29	30		12		2	6		116
32 島 根	50	305	60	27	55	1	1			499
33 岡 山	85	44	44	35	155	3	5	13		384
34 広 島	135	1,059	204	11	113	1	4	4	2	1,533
35 山 口	63	509	137	25	34		5	5		778
36 徳 島	10	220	38	13	61					342
37 香 川	19	221			35					275
38 愛 媛	31	65	125	26	134		2		1	384
39 高 知	31	82	37	4	43			7		204
40 福 岡	211	386	63	7	141	1	1	2	1	813
41 佐 賀	41	290		11	64					406
42 長 崎	49	288	77	9	24		2	3		452
43 熊 本	73	431	39	44	404		2	3		996
44 大 分	117	75	45	8	31		5			281
45 宮 崎	77	18	219	7	58		4	4		387
46 鹿児島	106	39	80		54					279
47 沖 縄	12	58	77	15	207					369
48 日本学連	352		90							442
合 計	5,487	16,218	4,834	3,057	23,453	38	86	181	37	53,391

平成19年度 技術等級認定者数

別表3

平成20年3月3日

支部名	1 級	2 級	3 級	4 級	S P	E X	S-SP	S-EX	名誉指導員	マスター
1 北海道	14	57			7	3				
2 青森	12	18	79	3	2					
3 岩手	15	20			5				3	
4 宮城	3				2					
5 秋田		20	54	15	4	2				
6 山形	3	8								
7 福島	5	163	20		4					
8 茨城	17	11			5			2		
9 栃木	100			2						
10 群馬	5	49			14					
11 埼玉	31	88	123	181	8	1	1	5		
12 千葉	7	12	6			1				
13 東京	117	54	5		5	5	3	2		
14 神奈川	13	13			1					
17 山梨	2	81	100	113	7	1				
16 新潟										
17 長野	29	4	131	2,621	5					
18 富山	2				5	2				
18 石川	4	8	4		5	3				
20 福井		14			2					
21 静岡	14	3	4		3		1			
22 愛知	13	71	19	111	5	1	2			
23 三重	4	3			3	2				
24 岐阜	1	59			9					
25 滋賀	7	47			2					
26 京都	7	5			6	5				
27 大阪	2	77	23	22	2	1	1	1		
28 兵庫	8	38	8	38	3	1		1		
29 奈良	2	33			12	2		1		
30 和歌山		3				1				
31 鳥取	11	2			2					
32 島根	3	2			6					
33 岡山	21	20			9	2				
34 広島	8	38			1	7		1		
35 山口	8	77	33	1	7					
36 徳島	1	5				1				
37 香川	2		3		4	2				
38 愛媛	4	24			1	1	2			
39 高知					2					
40 福岡	6	3			3	1				
41 佐賀	4	3								
42 長崎	1					1				
43 熊本	5	53	193	250		1				
44 大分										
45 宮崎	1	17	1		7				2	
46 鹿児島	3	1			5	3				
47 沖縄		15								
48 日本学連	18	12			43	28				
合計	533	1,231	806	3,357	216	78	10	13	5	0

平成19年度 会員登録集計表

別表4

平成20年3月31現在

	支部名	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
1	北海道	67	2,675	14	596	37	8,007	24	3,842	1	71			143	15,191
2	青森	50	666	13	239	42	3,979	42	1,073					147	5,957
3	岩手	60	1,570	28	501	146	5,330	83	2,487	1	28			318	9,916
4	宮城	72	856	19	342	172	2,809	87	2,552	2	35		14	352	6,608
5	秋田	34	752	11	338	81	3,037	51	1,471		15			177	5,613
6	山形	35	623	18	448	74	3,315	48	1,462		1			175	5,849
7	福島	71	1,051	30	655	171	7,704	82	2,137					354	11,547
8	茨城	62	1,037	14	409	193	9,632	82	2,158		9			351	13,245
9	栃木	46	679	13	390	130	6,061	52	1,355		4		21	241	8,510
10	群馬	51	1,031	18	574	165	7,837	55	1,524	1	15			290	10,981
11	埼玉	247	4,581	33	1,207	348	15,341	130	4,613				10	758	25,752
12	千葉	120	2,422	19	533	340	15,316	87	2,262				1	566	20,534
13	東京	140	3,127	21	494	345	9,939	194	4,371					700	17,931
14	神奈川	131	1,519	11	357	252	12,118	139	3,096					533	17,090
15	山梨	53	651	12	310	67	2,165	34	1,000					166	4,126
16	新潟	69	1,139	21	537	145	4,786	58	1,335					293	7,797
17	長野	22	952	17	583	113	4,342	80	1,843					232	7,720
18	富山	22	413	15	472	65	2,543	33	951					135	4,379
19	石川	57	745	18	421	75	3,456	43	1,132	2	16			195	5,770
20	福井	39	629	5	150	36	1,498	19	621					99	2,898
21	静岡	127	1,687	17	572	318	14,230	93	1,939					555	18,428
22	愛知	140	2,912	19	661	322	19,272	150	5,985					631	28,830
23	三重	45	660	15	353	157	7,271	51	1,434	1	9		1	269	9,728
24	岐阜	58	1,031	26	688	261	7,632	50	1,872					395	11,223
25	滋賀	29	631	12	454	38	795	38	1,545					117	3,425
26	京都	78	825	18	386	133	4,217	59	1,623					288	7,051
27	大阪	98	2,039	17	330	263	2,610	205	3,556					583	8,535
28	兵庫	78	1,559	12	145	299	16,501	160	5,603					549	23,808
29	奈良	33	934	9	173	64	2,638	27	1,032					133	4,777
30	和歌山	55	709	14	235	109	4,063	37	1,167					215	6,174
31	鳥取	25	423	18	296	29	948	26	625					98	2,292
32	島根	50	508	9	228	51	2,042	41	1,022					151	3,800
33	岡山	73	658	13	238	113	4,078	68	2,388					267	7,362
34	広島	110	1,515	22	304	110	3,050	105	3,004					347	7,873
35	山口	71	1,147	9	330	117	4,782	64	1,796	1	11			262	8,066
36	徳島	24	523	9	80	102	2,526	33	647	1	31			169	3,807
37	香川	29	397	6	151	57	2,629	29	730	1	2			122	3,909
38	愛媛	36	660	10	241	138	4,764	65	1,535				2	249	7,202
39	高知	31	419	10	134	47	1,487	28	527					116	2,567
40	福岡	68	1,499	15	205	165	5,266	97	2,916	2	78		3	347	9,967
41	佐賀	28	566	14	216	76	3,249	40	878					158	4,909
42	長崎	46	1,102	9	197	165	6,494	105	2,418					325	10,211
43	熊本	62	1,158	15	247	148	5,275	61	1,542	1	32			287	8,254
44	大分	48	803	11	144	104	3,200	29	685				1	192	4,833
45	宮崎	62	1,052	20	410	167	4,123	45	1,133					294	6,718
46	鹿児島	111	1,366	27	338	220	5,674	105	1,674		28			463	9,080
47	沖縄	22	327	6	103	57	1,908	36	604					121	2,942
48	日本学連											521	7,490	521	7,490
49	日本連盟	1	11											1	11
	合計	3,086	54,239	732	17,415	6,827	269,939	3,270	91,165	14	385	521	7,543	14,450	440,686
	昨年度	3,211	53,787	752	17,742	6,740	240,872	3,509	93,199	21	373	526	7,567	14,759	413,540